

# 令和3年度事業報告

## I. 令和3年度の取り組み概要

令和3年度は、昨年に引続き新型コロナウイルス感染拡大による制約もあったものの、オンラインを活用しながら事業を展開した。具体的には、九州イノベーション創出戦略会議（KICC）構成機関の広域連携体制の下で、オンラインやリアルによる技術ニーズの説明・マッチングなど九州企業と九州域外企業とのニーズ・シーズのマッチング及びセミナーの実施、開放試験研究機器等データベースの更新と活用を図るとともに、構成機関のコーディネータや九州オープンイノベーションセンター（KOIC）の成功報酬型コーディネータと連携して技術課題解決に対する支援を行った。

主な取り組みは、以下のとおりである。

1. KICC 構成機関のネットワーク
2. 九州企業と九州域外企業のニーズ・シーズのマッチング事業化支援
3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進
4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援
5. 成功報酬型コーディネータ事業との連携
6. 広報活動の実施

## II. 個別の取り組み

### 1. KICC 構成機関のネットワーク

#### (1) 通常総会及び特別講演会の開催

令和3年度の通常総会は、令和2年度事業報告や令和3年度事業計画（案）等に関して書面総会による書面表決を行い、決議の結果をオンラインにて会員へ報告した。また、オンラインによる報告の終了後、オープンイノベーション推進のための取り組み方策やグリーン成長戦略に関する国の施策等を紹介する特別講演会を行った。

#### ① 通常総会

##### I 書面決議

審議期間 令和3年7月13日（火）～令和3年7月21日（水）

審議結果 62機関中54機関から書面表決書を受領し、全て承認

##### II オンラインによる書面決議結果報告（出席者46名）

開催日：令和3年7月28日（火）

#### ② 特別講演会（聴講者：97名）

##### <講演1>

・テーマ：オープンイノベーションの実践例と推進のためのポイント

・講師：リンカーズ株式会社 取締役

加福 秀亙 氏

##### <講演2>

・テーマ：2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

・講師：経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 総括係長

太田 優人 氏

## (2) 構成機関の関係者とのネットワークの維持継続

- ・本会議事業の推進と円滑な運営を図るため、13人で構成する幹事会を開催し、令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画（案）等を審議（書面）した。
- ・会員機関の公募情報や取組みなどの情報発信を22件行った。
- ・なお、令和3年度末の本会議構成機関は62機関。
- ・工業技術センターを対象に KICC 事業の紹介及び KOIC の Web サイト（オープンイノベーション・ソリューション・サイト：OISS）掲載の技術シーズやニーズ、開放試験機器データベース、コーディネータ等の活用の活性化に関する意見交換<sup>\*</sup>を実施した（長崎県工業技術センター）。

※コロナ禍により訪問活動に制約が生じたことから、次年度にも意見交換を行うこととした。

## 2. 九州企業と九州域外企業のニーズ・シーズのマッチング事業化支援

### (1) オープンイノベーション・ソリューション・サイト等の活用による事業化の推進

- ・九州や九州域外の企業の技術課題（ニーズ）を発掘し、OISS サイトで公開した上で、その課題を解決するソリューションを有する企業等とのマッチング事業として291件のニーズに対し、11件のマッチングを支援した。

(件数)

区 分	九州サイト	リンカーズ	ナインシグマ	合計
ニーズ登録	88	159	44	291
シーズ登録	5	—	—	5
マッチング支援	2	9	0	11

### (2) 具体的なニーズ・シーズのマッチング事業

- ・大手企業が必要な技術や部材等のニーズを発表（オープン化）して、中小企業がシーズ等を提案し、マッチングすることにより中小企業等の取引拡大等を支援する「技術ニーズ説明会」を会場及びオンライン同時配信で開催した。ニーズに対するシーズ提案のなかから有望な提案について面談を実施した。

大阪ガス技術ニーズ説明会（参加者43名）

開催日：令和3年11月25日（木）

場 所：JR博多シティ会議室及びオンライン同時配信

結 果：ニーズ紹介件数 64件

シーズ提案件数 4機関から6件

一次面談 1機関3件

二次面談 1機関1件

### 3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進

- ・九州の大学・高専、各県公設試、産業支援機関等が協力して整備した開放試験研究機器データベースの追加・更新を行うとともに、ホームページ等を通じたPR等を行った。
- ・令和3年度末の開放試験研究機器データベースの登録件数は1,823件となった。
- ・なお、公設試のデータの更新等は、九州地方知事会（工業系公設試連携事務局）の協力を得て実施した。

開放試験研究機器データベースの更新状況

機 関 名		R 2 年度末 登録件数	修正 件数	削除 件数	新規 件数	R 3 年度末 登録件数
公 設 試	福岡県	240	216	24	12	228
	佐賀県	194	3	9	2	187
	長崎県	160	29	4	6	162
	熊本県	197	194	3	3	197
	大分県	154	84	9	3	148
	宮崎県	179	86	8	4	175
	鹿児島県	128	127	1	7	134
	小 計	1,252	739	58	37	1,231
そ の 他	大 学	332	25	11	19	340
	高 専	41	1	0	0	41
	支援機関	215	22	9	2	208
	産総研	3	3	0	0	3
	小 計	591	51	20	21	592
合 計		1,843	790	78	58	1,823

具体的な開放試験研究機器の事例

KICC 構成機関	開放試験研究機器	料 金
福岡県工業技術センター	超微小押し込み硬さ試験機	1,080 円/時
佐賀県工業技術センター	マイクロフォーカスX線透視装置	860 円/時
長崎県工業技術センター	音・振動分析装置	1,210 円/時
熊本県産業技術センター	熱物性測定装置	1,160 円/30 分
大分県産業科学技術センター	パワーアナライザ	760 円/時
宮崎県工業技術センター	スーパーイメージ炉	2,130 円/時
鹿児島県工業技術センター	微粒子拡散解析装置	2,320 円/時
鹿児島大学	動的散乱・ゼータ電位計	18,800 円/日
熊本高等専門学校	全自動耐圧試験機	1,200 円/1 供試体
久留米リサーチ・パーク	ガスクロマトグラフ質量分析装置	4,840 円/時

#### 4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援

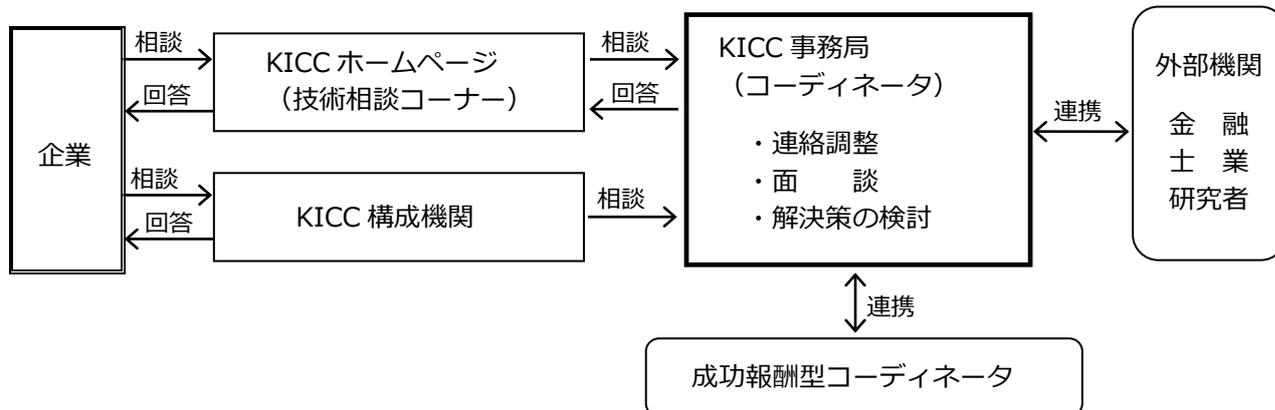
##### (1) 技術相談ワンストップサービス事業

- ・ KICC による技術相談のワンストップサービスを実施した。

令和3年度の技術相談件数：計8件

相談企業の分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナノテク・材料・製造分野：4件</li> <li>・ その他機械工業：3件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報・通信分野：1件</li> </ul>
技術相談と成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①福岡県のA社 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GUI（グラフィカルユーザーインターフェース）作成ツール</li> <li>・ 大手企業のニーズとのマッチング支援を実施</li> </ul> </li> <li>②福岡県のB社 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 液中に分散する材料の粒度分布測定について</li> <li>・ 候補となる開放試験研究機器データベース掲載の機器を紹介</li> </ul> </li> <li>③海外の独立行政法人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自国のニーズやシーズにかかるマッチングについて</li> </ul> </li> </ul>	

技術相談ワンストップサービスの仕組み



##### (2) オープンイノベーションセミナー

- ・ KICC 構成機関や Web 上でのマッチングサイトである OISS サイトの会員等を対象に「オープンイノベーションセミナー」(2/15、81名参加)をオンラインで開催し、オープンイノベーションを実践している企業の事例紹介等を行うとともに、オープンイノベーションの動向、最新トレンドを捉えた活動のポイントを紹介した。また、OISS サイトでセミナー資料の配信を行った。

### **(3) 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーへの参加**

- ・九州経済産業局と国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センターが主催、各県公設試、KICC等の共催により、最新技術情報を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」に参加し、KICCの紹介等を行った。

## **5. 成功報酬型コーディネータ事業との連携**

### **(1) 概要**

- ・KOICでは、中小企業の新製品・サービスやビジネスモデルの開発と事業化、販路開拓や取引の拡大、技術開発や知財取得等を成功報酬型契約に基づき、伴走型で支援する「成功報酬型コーディネータ事業」を平成27年度から実施している。
- ・この成功報酬型コーディネータに対し、KICC構成機関のニーズ・シーズを提供し、研究開発（技術の発掘、技術開発、試作品開発）、事業化計画（ビジネスモデル検討、事業計画作成、資金調達）及び販路拡大（マーケティング、マッチング）等のコーディネータ活動を行った。

### **(2) 活動実績**

- ・成功報酬型コーディネータが年間158件の企業等の訪問を通して、事業化計画の策定、技術開発、販路拡大等のコーディネータ活動を実施し、2件の成功報酬型新規契約の締結を達成した。

## **6. 広報活動の実施**

- ・KICC専用ホームページ等を通して、ニーズ・シーズ、開放機器、支援政策等の情報、大手企業のニーズ説明会、各種イベント情報等の広報を行った。

## **Ⅲ. 決算額**

令和3年度は、通常総会及び特別講演会の開催（オンライン開催）費用、オープンイノベーションセミナー、開放機器データベース更新等として、1,252千円を支出した。

以 上